

# 平成28年東京港取扱貨物の港湾統計

## ●平成28年の東京港の取扱貨物の現状

東京都港湾局は3月30日に「平成28年(2016年)東京港港勢(速報値)」のまとめを発表しました。今回は、日本の海上物流の拠点として大きな役割を担う東京港の平成28年におけるコンテナ取扱貨物量についてみていきます。

## ●外貿コンテナ取扱個数は前年比2.4%増

平成28年(1月～12月)の東京港における取扱貨物量は、出荷が2,766万トン、入貨が5,864万トン、総数は8,630万トンで、前年比(以下同)101.1%でした。

このうち、国外との海上輸送を取り扱う外貿取扱貨物量は、輸出が1,336万トン(103.4%)、輸入が3,473万トン(102.9%)と輸出入ともに増加し、外貿貨物全体では4,810万トン(103.0%)でした。

国内の海上輸送を取り扱う内貿貨物取扱量は、移出が1,429万トン(102.8%)、移入が2,390万トン(96.7%)、全体では3,820万トン(98.9%)でした。

また、外貿コンテナの総貨物量は4,617万トン(102.8%)で、うち輸出が1,277万トン(102.6%)、輸入が3,340万トン(102.8%)と輸出入ともに増加しました。

個数をベースとしたコンテナ取扱個数(輸出入、実入・空の合計※1)は、全体で425万TEU(102.4%※2)。このうち輸出が198万TEU(103.3%)、輸入が226TEU(101.7%)と、輸出入ともに増加しました。

なお、総貿易額は16兆4,032億300万円(93.1%)、輸出額は5兆8,208億4,900万円(93.2%)、輸入額は10兆5,823億5,400万円(93.1%)でした。

## ●輸出入ともに米・マレーシアなどが増加

外貿貨物を取引先の国別で見ると、輸出ではアメリカ(285万トン・107.0%)、マレーシア(49万トン・142.6%)などとの取扱貨物量が増加した一方、韓国(55万トン・89.1%)、インドネシア(34万トン・92.9%)などとの取扱貨物量が減少しました。

輸入においてもアメリカ(393万トン・113.3%)、マレーシア(103万トン・128%)などとの取扱貨物量が増加。しかし、中国(1489万トン・98.7%)、韓国(144万トン・94.7%)などとの取扱貨物量が減少しました。

輸出入を品別で見ると、輸出では自動車部品(151万トン・118.3%)、金属くず(65万トン・122.3%)などが増加し、再利用資材(257万トン・94.0%)、産業機械(170万トン・94.6%)などが減少しました。

輸入では、衣類・身廻品・はきもの(443万トン・106.5%)、その他畜産品(152万トン・121.0%)などが増加し、電気機械(314万トン・97.2%)、産業機械(135万トン・96.5%)などが減少しました。

## ●内貿貨物は完全自動車などが増加

内貿貨物の取扱量について、移出では完全自動車(707万1トン・108.3%)、再利用資材(33万トン・168.9%)などが増加し、廃土砂(148万トン・80.2%)、重油(16万トン・90.7%)などが減少しました。

移入は完全自動車(515万トン・106.8%)、取合せ品(243万トン・104.7%)などが増加、砂利・砂(412万トン・74.8%)、セメント(230万トン・90.3%)などが減少。移出入全体では3,820万トン(98.9%)でした。

また、東京湾に入港した船舶数は2万2,963隻で、このうち外航船は5,347隻(102.0%)、内航船は1万7,616隻(93.9%)。総トン数は、前年比105.8%の1億7,058万6,000トンとなりました。平成28年の東京港港勢の統計資料は、港湾局ホームページ(<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/03/30/04.html>)でご覧になれます。資料の内容についてのお問い合わせは、港湾局港湾経営部振興課(03-5320-5543)までお願いします。

(※1)輸出入のコンテナで貨物が入っている「実入りコンテナ」と、貨物が入っていない「空コンテナ」の合計

(※2)TEUはコンテナの個数を数える単位。1TEU = 20フィートコンテナ1個

## COFFEE BREAK

## 上野動物園が小さな惑星に

上野動物園のスマートフォン向けコンテンツ「UENO PLANET」が話題を集めています。上野動物園を「未知の惑星」とし、「知られざる多様な生態と無数の不思議が息づく UENO PLANET を、さまざまな視点でたどる」コンセプトで、動物をはじめ園内の植物や飼育小屋、現場スタッフなどを繊細なイラスト

UENO  
PLANET

と音声でユニークに紹介しています。気軽に読み進められるので、幅広い年齢層が楽しめそうです。コンテンツの企画・デザインは、商業施設「KITTE」のロゴなどを手掛けた日本デザインセンターの三澤デザイン研究室。おしゃれでわかりやすい内容が好評で、今後の来園者数にも影響が出そうです。